



⑧ 射水市 竹内源造記念館

新川町役場の外観として登場。終盤、掲示された貼り紙を見ていたらが喜ぶシーンを撮影。旧小杉町役場として建てられた建物は、昭和初期の洋風役場建築の特徴が残されており、竹内源造の鍛錬作品のほか、ゆかりの品を展示している。国登録有形文化財



⑦ 射水市 小杉展示館

「大阪新報社」の社内として登場。かつての「小杉貯金銀行」の本社社屋として建てられた建物。現在は博物館として利用されており、郷土ゆかりの作家による作品や全国的にも知られた小杉焼などを展示している。国登録有形文化財



⑥ 浜子橋

エンドロールで、セツの花嫁行列が農道や石橋を渡って進んでいくシーンを撮影。婦中町浜子地区にある杉原神社付近の合場川に架かる昔ながらの石橋であり、周りには田園風景が広がる。

大勢のエキストラさんに参加していただき、早朝から集合し、時代に合った衣装や髪型のセットなどの準備にも毎回長時間ご協力頂きました。



大コメ騒動

口ケ地MAP

富山県内



⑤ 富山県庁

米騒動を全国に報道した「大阪新報社」の外観として登場。本館正面入口の階段を使用して撮影された。昭和10年に建造された、鉄筋コンクリート造4階建てのモダニズム様式に溢れた近代建築物で、正面階段の手すりには大理石が使用されている。国登録有形文化財



④ 北前船廻船問屋 森家

大地主の豪邸「黒岩邸」として登場。おかかたちが大勢集まり、米を安くするよう嘆願するシーンを撮影。日本海交易で活躍した北前船の廻船問屋のたたずまいが残されている。国指定重要文化財



■富山県へのアクセス

電車でお越しの方は

東京駅	北陸新幹線 はくたか 2時間20分	黒部宇奈月温泉駅
	北陸新幹線 はくたか 2時間42分	新高岡駅
	北陸新幹線 かがやき 2時間8分	

飛行機でお越しの方は

東京(羽田空港)	全日空60分	富山きときと空港
札幌(新千歳空港)	全日空1時間35分	

お車でお越しの方は

東京	北陸自動車道経由 約4時間30分	富山駅
名古屋	一宮IC・北陸自動車道経由 約3時間	
大阪	豊中IC・北陸自動車道経由 約4時間15分	富山IC
	※所要時間に変動がある場合があります。	



■富山県の新鮮で豊富な食と雄大な自然



富山湾鮭
県内約50店の加盟店で、富山湾で獲れた旬のネタ10貫を定価で提供。富山県を訪れた人しか味わうことのできない極上鮭。



高志の紅ガニ
「富山湾の朝陽」と呼ばれる富山湾の王者ブリ。ぶりしゃぶをはじめ、肉厚の刺身、ぶり大根など、さまざまな料理で味わえます。



ブリ

冬とともにやってくる、富山湾の代表的な秋から冬の味覚の一つ。身はジューシーで上品な甘さが口の中にひろがり、カニミンも絶品。



立山黒部アルペンルート
標高3,000m級の峰々が連なる、北アルプスを貫く山岳観光ルート。みくりが池、称名滝などダイナミックな自然が魅力。



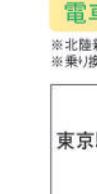
黒部峡谷トロッコ電車
日本最大級のV字峡谷を満喫できるトロッコ電車が人気。玄関口の「宇奈月温泉」の湯は日本一の透明度といわれ、美肌の湯として知られています。



環水公園・富岩水上ライン
富山県の北側にあり、旧船だましを利用した都市のオアシス。公園から港町の岩瀬まで、富岩水上ラインで運河クルーズが楽しめます。



雨晴海岸
晴れた日には、沖にある女岩を前景に立山連峰を望むことができる景勝地、「有磯海」として国の名勝に指定されています。



五箇山合掌造り集落
大きな茅葺き屋根の家屋が並ぶ集落。1995年、岐阜県白川郷とともに世界遺産に登録された。四季折々の美しい景観が魅力。



① 魚津水産株式会社

新川警察署および留置所として登場。事務所横の倉庫では、仲たちが米倉を運び出すシーンを撮影。定置網漁業を行う会社で、米騒動の発端となった旧十二銀行や米倉をそのまま事務所や倉庫として使用している。倉庫前には「米騒動発祥の地」と書かれた石碑が建つ。※米倉の中を見学する場合は、魚津市教育委員会(0765-23-1045)に確認してください。

魚津水産株式会社では、時代設定に合わせるために道路に土を撒いたり、民家を隠すために板塀を建てて撮影されました。



② 旧宮崎酒造

薬問屋「池田模範堂」として登場。子供たちが勉強する私塾や、大阪新報社から来た一ノ瀬記者の滞在した場所として撮影。かつて滑川市の宿場町として栄えた瀬野町にある酒蔵であり、現在は飲食店や骨董市、イベントなどに利用されている。国登録有形文化財



③ 岩瀬浜海岸

米俵を軽く積み込むシーンやおかかたちが米の積み出し阻止を図るシーンなど、海岸口ケ地が行われた場所。砂浜にはセットの小屋を建て、米俵を積み上げるなど当時の様子が再現された。海岸から東には日本の白砂青松100選に選ばれた美しい「古志の松原」が続き、南東には立山連峰を望むことができる。富山中心部からのアクセスもよく、海水浴客や釣り人でぎわう海岸

県内の海岸は数多くありますが、消波ブロックなどの人工物が何本も映り込まない海岸という条件のもと、口ケ地に決定した場所が岩瀬浜海岸でした。

撮影に使用した和船は、氷見市の番匠造船さんからお借りしたものの。陸路で船を運び、岩瀬浜では下に丸太を何本も撒き、スタッフ総出で力いっぱい船を押したり、走って丸太を前方に移動させるなどして砂を往復しました。